

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 6 部門第 2 区分
 【発行日】平成 19 年 5 月 10 日 (2007.5.10)

【公開番号】特開 2003-302847 (P2003-302847A)
 【公開日】平成 15 年 10 月 24 日 (2003.10.24)
 【出願番号】特願 2002-107319 (P2002-107319)
 【国際特許分類】

G 0 3 G 15/20 (2006.01)

H 0 5 B 6/06 (2006.01)

H 0 5 B 6/14 (2006.01)

【F I】

G 0 3 G 15/20 1 0 1

G 0 3 G 15/20 1 0 3

H 0 5 B 6/06 3 9 3

H 0 5 B 6/14

【手続補正書】
 【提出日】平成 19 年 3 月 20 日 (2007.3.20)
 【手続補正 1】
 【補正対象書類名】明細書
 【補正対象項目名】請求項 1
 【補正方法】変更
 【補正の内容】

【請求項 1】 高周波電流を通電することにより磁束を発生するコイルと、前記磁束の作用により発熱する導電体を備えたローラと、を有し、前記ローラの熱により記録材上のトナー像を加熱する像加熱装置において、

前記コイルと電氣的に絶縁されて前記ローラの近傍に配置され、前記コイルの電位変動に伴って生じる誘起電圧を整流することで所定極性の電圧を発生する電圧発生回路を有することを特徴とする像加熱装置。

【手続補正 2】
 【補正対象書類名】明細書
 【補正対象項目名】0 0 0 7
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【0 0 0 7】

本発明に係る像加熱装置の代表的な構成は、高周波電流を通電することにより磁束を発生するコイルと、前記磁束の作用により発熱する導電体を備えたローラと、を有し、前記ローラの熱により記録材上のトナー像を加熱する像加熱装置において、前記コイルと電氣的に絶縁されて前記ローラの近傍に配置され、前記コイルの電位変動に伴って生じる誘起電圧を整流することで所定極性の電圧を発生する電圧発生回路を有することを特徴とする像加熱装置、である。